

熊本県 菊池市 松岡牧場 搾乳牛50頭



熊本県の北部に位置する菊池市は、九州全体で見ても、畜産が盛んな地域の一つである。

特に菊池地区の酪農は有名だが、実は肥育地帯（ホルスタイン、F1、和牛含め）でもあり、

ホルスタイン、F1の育成農家さん、和牛繁殖の農家さんもたくさんいる。

菊池に行くと、牛舎が見えない場所は少ない（ない！？）のではないかと感じてしまう・・・

松岡牧場は、そんな畜産地帯のど真ん中にある。

松岡浩幸さんが、アースジェネターの給与を開始してから10年以上が経つ。

アースジェネターの給与を始めたきっかけは、

周りの農家さんから、“エサの喰い込みが安定するよ。” という話を聞いたからだ。

“エサをきちんと喰い込めば、牛は健康に育つ！！” 松岡さんの考えだ。

給与後の変化を聞いたのですが、

”喰い込みは良くなったね。特に、夏場の喰い込みは、給与前と比べ、明らかに違うよ。”

ということ。

熊本の夏は、湿度も高く、もちろん、暑い。

九州の酪農家さんの悩みは、夏場をどう乗り切るか、ということだ。

松岡牧場では、夏場の牛舎の温度を下げるために、屋根の上に水を流したり、

扇風機を多めに取り付け、牛達に風を当てて体感温度を下げるようにしたり、

牛達にストレスをかけないよう、牛舎環境も整備している。

それに加え、アースジェネターの給与でルーメンや腸内細菌叢を整え、夏場に備えている。

“他の人に勧めたいとばってん、長続きせんもんね・・・”

松岡さん、その気持ちだけで嬉しいです。ありがとうございます！！

今後も、松岡さんの牛達が健康に育つための手助けができれば良いな、と思っています。

☆牛舎環境の整備も良い感じですよね (* ^ _____ ^ *)

